

令和6・7年度 港区教育委員会研究奨励園



中之町幼稚園だより

令和8年2月号

港区立中之町幼稚園

園長 酒井 正美

大寒のこの時期、幼稚園の「にこにこ池」には、毎日のように氷が張りました。薄い氷、厚い氷と日によって氷はいろいろです。

草や葉と一緒に凍っている氷、落とすと割れてしまう氷、「冷たーい！」と言いながら、思い思いに氷に関わる姿があります。

5歳児宇宙組は、集めた氷を園庭のあちこちに置き、次の日に氷が残っているかどうか楽しみにする姿もありました。

子供たちは、身近な冬の自然に関わる中で、直接の体験を積み重ねています。そこでは、驚きや楽しさ、不思議さを感じると同時に、音や感触といった感覚を伴いながら、物の特性に気づき、自分なりに考えたり試したりしています。自分が直接体験したこと、友達がしていることに関心をもち見ること、等々がつながることで、子どもたちの中に経験として積み重ねられていきます。

図鑑や絵本で見たとき、また小学校以降の学習の中で「氷」が取り上げられたときに、頭で理解するだけではなく、「氷」について、寒い朝や触った時の冷たさなどの記憶を伴い想像し理解できることは、深い学びにつながっていきます。様々な事象を、友達や先生との温かな関わりの中で、豊かに経験していったほしいと願います。

間もなく立春。学級で育てている球根や野菜の芽が出てきたことを喜ぶなど、幼稚園の園庭には身近な自然がいっぱいです。まだまだ寒い日が続きますが、春の訪れを子供たちと感じ、楽しんでいきたいと思えます。



幼稚園ではどの学年も、「作品展」に向けた取り組みを進めています。幼児は、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力、創造性を豊かにしていきます。作品展では親子参観の時間を設けています。どんなことを感じ、考え、楽しんでつくったのかな、かいたのかな、と想像し、お子さんと会話をしながら、作品展を楽しんでいただければ幸いです。子供たちは、友達の作品、他学年の作品を互いに観合うことも楽しんでいきます。親子で作品展全体をぜひお楽しみください。

12月に保護者の皆様、地域の学校運営協議会の皆様に、今年度の取組についてアンケートで評価をいただき、ありがとうございました。どの項目も概ね高い評価をいただきました。記述欄には、多くの温かな励ましの言葉をいただき、改めて幼稚園が、保護者、地域の皆様に支えられていることを感じました。もちろん、改善すべき点もあります。次年度の計画に生かしてまいります。詳しくは、保護者会にて報告をさせていただきます。